



第57号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報誌

活き 生き **スポ進**

KOHOKU

平成 28 年 12 月 発行

発行者

港北区スポーツ推進委員連絡協議会

編集

港北区スポーツ推進委員広報委員会

事務局

横浜市港北区大豆戸町26-1

横浜市港北区役所地域振興課内

電話 045-540-2238

FAX 045-540-2245

11月20日(日)

第21回 港北区ペタンク大会

熱戦を制し、高田レッドチームが優勝!



11月20日(日)、榊町公園多目的広場で、第21回港北区ペタンク大会が開催されました。72チームが出場し、熱戦を繰り広げました。



▲前日の雨により、グラウンドは水たまりだらけ。スポ進総出で整備作業を行いました。

★大会結果★

- 優勝：高田レッド(高田地区)
- 準優勝：箕輪(日吉地区)
- 第3位：大曽根親交会(大曽根地区)
- 第4位：本家大倉山ハイムZ(大倉山地区・一般参加)



第21回 港北区ペタンク大会優勝 高田レッドチーム インタビュー

高田レッド 高杉 マサ江

第21回港北区ペタンク大会が、11月20日(日)、榊町公園多目的広場で開催されました。前日の雨で広場は田んぼ状態のところ、役員の方々の早朝からの御苦労のお陰で大会が出来ました。

全72チーム参加で、第1試合が始まりました。水溜りのところにボールが入ってしまうと、ボールは前に転がりませんでした。タオルで拭きながらの試合でした。

ペタンクは、フランスで生まれたスポーツで、小学生から高齢者でもみんなで楽しんで出来ます。1対1でも2対2でも、今回の試合のように3対3でも試合が出来ます。少人数で狭い場所でも練習が出来るので、もっと皆様に広がってほしいと思います。

私達高田レッドは1ヶ月に2回、公園で1時間半ほどの練習をしています。高田レッドのゲームは、2試合目から始まりました。最初はボールが飛ばなくて、ピュットの近くに寄らず苦労しました。でも1人が失敗しても、ドンマイ、ドンマイと皆がカバーしてくれます。第1試合は5対3で勝ち、2試合目は3対4で負けてしまいました。今回まさか優勝できるとは、最初からの試合を考えると想像も出来ませんでした。

でも後の5ゲームは3人で力を合わせて、逆転優勝し、高田地区に初めてカップを持って帰る事が出来ました。試合でのボールの選びも、ジャンケンで買った時はチーム名に合わせて赤いボールを選び、ジャン

ケンで負けても相手が白い球の時はラッキーと3人で赤を取り試合に臨みました。

ペタンクは3人のチームワークが大切なスポーツです。仲間を信頼し、失敗しても後の2人が決めてくれて、ハイタッチで喜び合い、決勝戦では相手チームに3点先取された時はもうだめかと思いましたが、あきらめずに3人でピュットに向かってボールを投げ続けて点数を重ねていき、11対3で勝つ事が出来ました。皆様の応援のお陰と3人で感謝しております。

港北区スポーツ推進委員、区役所関係者の皆様の企画・運営に感謝し、ペタンクの普及にこれからも努めていきたいと思っております。

高田レッド代表
高杉、小岩、古山



優勝した高田レッドチームの皆さん▲

6月12日(日) スポーツ推進委員 全員研修会

港北区スポーツ推進委員全員研修の実施状況について

ペタンク委員会会長 天満 尚二

6月12日(日)、場所は横浜市立港北小学校グラウンド。港北区のスポーツ推進委員が一堂に会して、全員研修を行いました。全員研修は、日々、スポーツの推進活動を行うスポーツ推進委員の指導力の強化と現場対応力の向上をはかることを目的に毎年行っています。

今年度は指導力の強化としてフランス生まれの競技ペタンクの審判技術の研修を、また、現場対応力の強化としてAED研修の2つの研修を行いました。ペタンク審判技術の研修では、実際にゲームを行いながらケーススタディにより細かなルールの確認を行いました。AED研修においては、港北区消防団の方々にご支援をいただき、AEDとダミー人形を用いた模擬訓練を行いました。いずれの研修も参加されたスポーツ推進の真剣で本番さながらの取り組みにより有意義な研修を行うことができました。

港北区スポーツ推進委員は、今後も継続的な研修を通して指導力、現場力を高めたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



▲救命救急講習の様子



▲ペタンク審判講習の様子

●全体研修会とは？

スポ進主催のスポーツイベントではケガ人は出たくない！
万一の際にもAEDが使えるようにしよう！そんな気持ちから
スポ進全員を対象に実施しました。今後もスポ進は安心安全な大会運営に努めます。
また、今年度は救命救急講習に加えて、ペタンクの審判講習会を実施。技術力の向上も怠りません！



港北駅伝大会 —強豪チームに聞く、強さの秘密—

近年のチーム網島の強みについて

網島連合 前駅伝監督 山上 幸夫

一番は、選手選考会を兼ねる「網島スポーツフェスティバル」の存在です。持久走での上位入賞者を大会参加へ勧誘します。各種スポーツの走り自慢の方々が参加する、貴重な人材確保の場です。そして練習会です。①長距離への不安克服のロングジョグ、②力強い呼吸ときれいなフォームの追及、③スピードアップと記録会開催、④目標タイムの設定とチャレンジ、⑤ご家族及びコーチングスタッフによる事故・怪我などをさせない献身的なサポート、⑥何より「楽しく・安全に」が最優先です。過去の太尾チーム10連覇を止められなかった悔しさと負けん気が根底にあります。

今年4月に、現監督である古家氏をリーダーに「網島ランニングクラブ(T.R.C)」が発足しております。

☆網島ランニングクラブとは？

網島ランニングクラブ代表 古家 彰一
(網島連合チーム監督、網島地区スポーツ推進委員)

網島ランニングクラブ(T.R.C.)は、網島連合町会チーム選手を中心に、網島地区に限らず楽しく走りたい小学生のための陸上クラブです。小学生のうちに走ることが好きになり、将来競技を続けて行くための基礎を、しっかり身に付けてもらうため、効率的に走るフォームと基礎を学びます。年間何回かの横浜市内の大会に出場したり、初日の出ランやお楽しみ会など楽しい企画も織り交ぜ、魅力あるランニングライフを提供します。

開催頻度は 春から秋は 第2・4日曜日、月2回、朝9時半より練習！冬はもっと(笑)メンバーは、小学生と大人合わせて現在登録メンバー70名、練習は常時25名程です。鶴見川河川敷コースなどで練習しています。
よかったら、一緒に走りましょう！

お問合せ先：
MAIL. akifuruie0818.run@gmail.com
Twitter. @trcrunrun



▲網島ランニングクラブ (T.R.C)

お知らせ

第32回港北駅伝大会

日時 平成29年1月8日(日)

会場 日産フィールド小机

●今年度参加予定者数●
1,598人

7月24日(日) 小学生スポーツフェスティバル

日吉地区スポーツ推進委員 桜井 貞次郎

小学生スポーツフェスティバルは、
 (1) 体を動かす楽しさを知ってもらう。
 (2) 普段あまり体験しないスポーツを体験する。を目的に7月24日(日) 港北スポーツセンターにて、開催されました。今年も朝から多くの参加者が受付に集まり、スタンプ用紙を受け取り体育館に来場。目的のフットサルはすぐに行列となり10分から15分待ちとなってしまう、我々スタッフはペタンク・ユニホック・グラウンドゴルフの空いている競技に案内をして感じたのは、親子の参加が昨年より多かったことです。
 やはりフットサルは人気があり、同じ小学生の子が何度も体験をし、鼻血を出す子もいましたが父兄がおり安心しました。また、受付フロアーには4種類のスタンプをもらった小学生と父兄でいっぱいでした。
 年々参加人数は多くなって来ております。来年も今年以上に盛り上げて港北区全体の小学生に参加して頂くことを願っております。



▲ペタンク



▲グラウンドゴルフ



▲ユニホック



▲フットサル

●小学生スポーツフェスティバルとは？

毎年7月第4日曜日に港北スポーツセンターで実施。港北区の小学生とその家族を対象とした様々なスポーツが体験できるイベントです。

【参加者の声】

- ・色々なスポーツを知ることができてよかったです。
- ・やったことがないスポーツ体験ができた。
- ・細かく丁寧に教えてくださって感謝しています。
- ・孫、子どもと一緒に楽しめた。
- ・また来たい!

10月22日(土) ふるさと港北ふれあいまつり

新羽地区スポーツ推進委員 小松 賢吉

10月22日(土) 新横浜駅前公園野球場にて、「ふるさと港北ふれあいまつり」が開催されました。
 会場には区内各団体の趣向をこらした 83 ものブースが出現。お天気に恵まれたこともあって、人気ブースは開場直後から賑わっていました。
 日頃より区民の“おなか”を支えてきた港北区内商店街にスポットをあて、地元の味を広く御紹介する「本部特設ブース!～ご賞味ください 地元商店街の味～」では、揚げたてのコロケが大好評で、開場早々から閉会まで長い行列ができていました。
 ステージでは、開会式のあと、地域の伝統である「岸根囃子」、「小机城址太鼓」、「港北阿波踊り」、「大曾根夢太鼓どどん鼓」が披露され、恒例の横浜F・マリノストリコロールマーメイズによる「チアリーディング」と「それいけ!アンパンマンショー」は、身動きできないほどの聴衆で埋め尽くされました。
 スポーツ推進委員のペタンクとグラウンドゴルフ体験ブースには、ご家族連れから地域で活動されている方まで 500 人を超える皆さまにお立ち寄りいただき、終始賑やかなブースとなりました。ありがとうございました。



▲スポーツ推進委員ブース グラウンドゴルフ体験



▲スポーツ推進委員ブース ペタンク体験

10月 健民祭(体育祭)

菊名地区大運動会

菊名地区スポーツ推進委員 飯塚 まち子

10月2日(日)、大豆戸小学校にて、「第41回健民祭 菊名地区大運動会」が開催されました。台風や秋雨前線の影響で連日ぐずついた空模様が続く中、当日は晴天に恵まれ、多くの参加者が集まりました。

今年は、昨年まで行われていた「障害物競走」に代わり、新種目「お水でカンパイ」がお目見えしました。この競技は、スタートした選手がバケツの水を紙コップにくみ、約30メートル離れたペットボトルに水を移しかえて次の選手にリレーするというもの。最も早くペットボトルから水をあふれさせたチームが優勝です。慎重に走ればスピードが遅くなり、速く走れば水がこぼれてしまうため、各選手とも工夫しながら奮闘していました。

昼休みには大豆戸小学校の児童による演技「まめんちゅエイサー2016」も行われ、来場者から大きな声援が送られていました。子どもからお年寄りまで、全力で体を動かし、全力で応援した楽しい運動会でした。



▲お水でカンパイ



▲まめんちゅエイサー



▲小学校低学年80m走

第43回新羽地区健民祭

新羽地区スポーツ推進委員 小松 賢吉

10月16日(日)新羽中学校の校庭をお借りして、第43回新羽地区健民祭が開催されました。半年前の4月16日、震度7の本震が熊本を襲い交通が寸断され、数日間もの間、地域で助け合いながら救援を待ったとのこと。万一災害を経験するようなことがあれば、新羽町は日本一助け合うことができる町であって欲しい。地域行事で皆が繋がりを、健民祭で心ひとつに協力しあって、一層の絆を深めていただきたい。そんな思いを込めての開催でした。

お尻で風船を割って笑いを誘う「クロスカントリー」、幼児が新羽町特産の野菜めがけて走る「買い物ゲーム」、豪華賞品がお目当ての「ウルトラクイズ」など、楽しめる競技も盛りだくさん。

町会対抗競技は、練習が結果に結びつく「むかでリレー」。かけっこが苦手でも、器用さで挽回できる「バラエティリレー」。

掴んだボールで運を味方に近道できる「関所破り」。いつも接戦の「綱引き」。大会の錦を飾るのは、小学生から各世代8人のかけっこ自慢がバトンを繋ぐ「町会対抗リレー」です。

健民祭は、スポーツ推進委員、青少年指導員、子ども会、運営経験者による総勢100名を超えるスタッフで準備が進められ、新羽中学校の生徒さんも前日からスタッフに加わります。これだけの力を結集できる健民祭は地域の誇りでもあります。



▲買い物ゲーム



▲チラシ

お知らせ

港北区スポーツシンポジウム 2月18日(土)開催

講師調整中 による講演(ロサンゼルスオリンピック金メダリスト)「私と体操-限界へ挑戦-」

日時 平成29年2月18日(土)
午後2時~午後4時(午後1時30分開場)

会場 城郷小机地区センター
(港北区小机町2484-4)
※JR横浜線 小机駅下車 徒歩1分

詳細は

港北区スポーツ推進委員

検索